

## 株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに第114期（自 平成25年4月1日至平成26年3月31日）の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

当社グループは、当期を、新たな成長をめざし収益を回復するための再スタートの年と位置付け、収益回復に向けた道筋を固めてまいりました。

そのための施策として、経営体質の徹底した強化のうえに、新サービスの創出とグローバルに向けた成長の実現に取り組みました。

課題事業に一定の道筋をつけ、社内リソースを成長分野へシフトするなど経営体質の強化を進めるとともに、クラウド、ビッグデータなどの製品・サービス群を体系化することで、トータルなソリューションをお客様に提供できるようにしたことは、こうした取り組みの一例です。

また、グローバルなビジネス遂行体制を一層強化するため、世界を5つの地域に区分し、事業セグメントを加えたマトリクス体制の整備を進めております。さらに、グローバル企業の経営基盤として活用するため、国際会計

基準（IFRS）の任意適用を決定いたしました。

中でも、経営体質の強化の取り組みは成果を上げており、当期の業績は、年初計画を上回ることができました。当期の業績の詳細につきましては、当報告書の4ページをご覧ください。

また、当期における諸施策の実施により、個別決算における財務内容が復配できる水準まで回復いたしました。今後の配当の継続性も考慮し、当期の期末配当は、1株あたり4円とさせていただきます。

今後とも、富士通グループはステークホルダーのみなさまとともに、さらなる成長を目指してまいります。株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成26年5月

取締役会長

間塚道義

代表取締役社長

山本正巳

取締役会長  
間塚道義



代表取締役社長  
山本正巳

